

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード注/ICD-10等)	解析適用基準	頁
20	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	0500303x04/ 0500303x05	K614/ K614-2/ K614-3/ K615	外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	84
21	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	050030	入院の契機となった諸病名が ICD10: I21/ I22に限定。リスク調整 を参照	20件以上の施設対象	85
22	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞および狭心 症、慢性虚血性心疾患	0500303x02/ 0500503x02/ 0500303x03/ 0500503x03			86
23	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞および狭心 症、慢性虚血性心疾患	0500303x02/ 0500503x02/ 0500303x03/ 0500503x03		件数上位25% (15件以上) の施設対象	87
24	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞および狭心 症、慢性虚血性心疾患	0500303x04/ 0500303x05/ 0500503x05/ 0500503x06/ 0500503x07/ 0500503x08	0500303x04はK614-2, K614-3, K615を 使用。0500303x05はK614を使用。		88
25	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞および狭心 症、慢性虚血性心疾患	0500303x04/ 0500303x05/ 0500503x05/ 0500503x06/ 0500503x07/ 0500503x08	0500303x04はK614-2, K614-3, K615を 使用。0500303x05はK614を使用。	20件以上の施設対象	89
26	弁膜症	0500803x01/ 0500803x02/ 0500803x03/ 0500803x04			90
27	解離性大動脈瘤および破裂性大動脈瘤お よび非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	050163x01~050163x04/ 050163x06/ 050163x07/ 0501623x01~0501623x03/ 0501623x06/ 0501633x01~0501633x08			91
28	全循環器系疾患	MDC05 全て	K588/ K598		92
29	全循環器系疾患	MDC05 全て	K614/ K614-2/ K614-3/ K615		93
30	全循環器系疾患	MDC05 全て	K552/ K554		94
MDC06: 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患					
1	食道の悪性腫瘍	0600103x01/ 0600103x02/ 0600103x03/ 0600103x04/ 0600103x05			97
2	食道の悪性腫瘍	0600103x01/ 0600103x02/ 0600103x03/ 0600103x04/ 0600103x05		外れ値両側5%は除外 件数上位25% (4件以上) の施設対象	98
3	食道の悪性腫瘍	0600103x01/ 0600103x02/ 0600103x03/ 0600103x04/ 0600103x05		外れ値両側5%は除外 件数上位25% (4件以上) の施設対象	99
4	胃の悪性腫瘍	0600203x01/ 0600203x02/ 0600203x03/ 0600203x04/ 0600203x05			100
5	胃の悪性腫瘍	0600203x01/ 0600203x02/ 0600203x03/ 0600203x04/ 0600203x05		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	101
6	胃の悪性腫瘍	0600203x01/ 0600203x02/ 0600203x03/ 0600203x04/ 0600203x05		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	102
7	大腸の悪性腫瘍	0600353x01/ 0600353x06/ 0600353x07			103
8	大腸の悪性腫瘍	0600353x01		外れ値両側5%は除外 件数上位25% (19件以上) の施設対象	104
9	大腸の悪性腫瘍	0600353x01		外れ値両側5%は除外 件数上位25% (19件以上) の施設対象	105
10	直腸肛門の悪性腫瘍	0600403x01/ 0600403x02/ 0600403x03/ 0600403x04/ 0600403x07			106

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード注)/ICD-10等)	解析適用基準	頁
11 直腸肛門の悪性腫瘍	手術を施行した症例における平均在院日数	0600403x01/ 0600403x02/ 0600403x03/ 0600403x04/ 0600403x07		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	107
12 直腸肛門の悪性腫瘍	手術を施行した症例における一入院当たり 診療報酬点数(出来高換算)平均値	0600403x01/ 0600403x02/ 0600403x03/ 0600403x04/ 0600403x07		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	108
13 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	入院件数	0600503			109
14 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	治療内訳	0600503		20件以上の施設対象	110
15 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	肝切除術を施行した症例における平均在院 日数	0600503x01/ 0600503x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(8件以上)の施設対象	111
16 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	肝切除術を施行した症例における一入院当 たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	0600503x01/ 0600503x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(8件以上)の施設対象	112
17 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	マイクログ波凝固法を施行した症例における 平均在院日数	0600503x03		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(5件以上)の施設対象	113
18 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	マイクログ波凝固法を施行した症例における一入院 当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	0600503x03		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(5件以上)の施設対象	114
19 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	血管塞栓術を施行した症例における平均在 院日数	0600503x05		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	115
20 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	血管塞栓術を施行した症例における一入院 当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	0600503x05		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	116
21 膵臓の悪性腫瘍	手術件数	0600703x06/ 0600703x07/ 0600703x11/ 0600703x12/ 0600703x13	ICD-10: C25		117
22 膵臓の悪性腫瘍	手術を施行した症例における平均在院日数	0600703x06/ 0600703x07/ 0600703x11/ 0600703x12/ 0600703x13	ICD-10: C25	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(3件以上)の施設対象	118
23 膵臓の悪性腫瘍	手術を施行した症例における一入院当たり 診療報酬点数(出来高換算)平均値	0600703x06/ 0600703x07/ 0600703x11/ 0600703x12/ 0600703x13	ICD-10: C25	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(3件以上)の施設対象	119
24 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢 炎等/胆管(肝内外)結石	胆嚢摘出術の手術件数	別冊: 0603303x03/ 0603353x03/ 0603403x12 別冊編: 0603303x04/ 0603353x04/ 0603403x11	0603403x12はさらにK672 で抽出		120
25 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢 炎等/胆管(肝内外)結石	胆嚢摘出術の開腹・腹腔鏡施行割合	別冊: 0603303x03/ 0603353x03/ 0603403x12 別冊編: 0603303x04/ 0603353x04/ 0603403x11	0603403x12はさらにK672 で抽出	20件以上の施設対象	121
26 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢 炎等/胆管(肝内外)結石	開腹による胆嚢摘出術における平均在院日 数	0603303x03/ 0603353x03/ 0603403x12	0603403x12はさらにK672 で抽出	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	122
27 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢 炎等/胆管(肝内外)結石	開腹による胆嚢摘出術における一入院当 たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	0603303x03/ 0603353x03/ 0603403x12	0603403x12はさらにK672 で抽出	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	123
28 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢 炎等/胆管(肝内外)結石	腹腔鏡下胆嚢摘出術における平均在院日 数	0603303x04/ 0603353x04/ 0603403x11		20件以上の施設対象	124
29 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢 炎等/胆管(肝内外)結石	腹腔鏡下胆嚢摘出術における一入院当 たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	0603303x04/ 0603353x04/ 0603403x11		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	125
30 急性膵炎	入院件数	0603503			126
31 急性膵炎	治療内訳	0603503			127
32 急性膵炎	平均在院日数	0603503		件数上位25%(9件以上)の施設対象 外れ値両側5%は除外 件数上位25%(9件以上)の施設対象	128

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード注/ICD-10等)	解析適用基準	頁
33 急性肺炎	一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	0603503		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(9件以上)の施設対象	129
MDC07: 筋骨格系疾患					
1 股関節症(変形性を含む)	人工関節置換術の施行件数	0702203x02			133
2 股関節症(変形性を含む)	人工関節置換術の施行割合	0702203		件数上位25%(10件以上)の施設対象	134
3 股関節症(変形性を含む)	人工関節置換術施行症例における平均在院日数	0702203x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(11件以上)の施設対象	135
4 股関節症(変形性を含む)	人工関節置換術施行症例における一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	0702203x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(11件以上)の施設対象	136
5 膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術の施行件数	0702303x02	K082		137
6 膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術の施行割合	0702303	K082	件数上位25%(7件以上)の施設対象	138
7 膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術施行症例における平均在院日数	0702303x02	K082	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(8件以上)の施設対象	139
8 膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術施行症例における一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	0702303x02	K082	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(8件以上)の施設対象	140
9 全筋骨格系疾患	【特掲診療料施設基準】人工関節置換術の施行件数	MDC07全七	K082		141
MDC08: 皮膚・皮下組織の疾患					
1 帯状疱疹	入院件数	0800203			145
2 帯状疱疹	平均在院日数	0800203		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	146
3 帯状疱疹	一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	0800203		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	147
4 水疱症	入院件数	0801103			148
MDC09: 乳房の疾患					
1 乳房の悪性腫瘍	術式別手術施行件数	0900103x01	K4761/ K4762/ K4763/ K4764/ K4765/K4766/ ICD-10:C50		151
2 乳房の悪性腫瘍	術式別手術施行割合	0900103x01	K4761/ K4762/ K4763/ K4764/ K4765/K4766/ ICD-10:C50	20件以上の施設対象	152
3 乳房の悪性腫瘍	乳房部分切除術(乳房温存術)施行症例における平均在院日数	0900103x01	K4762/ K4763/ ICD-10:C50	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(18件以上)の施設対象	183
4 乳房の悪性腫瘍	乳房部分切除術(乳房温存術)施行症例における一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	0900103x01	K4762/ K4763/ ICD-10:C50	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(17件以上)の施設対象	154
5 乳房の悪性腫瘍	乳房切除術施行症例における平均在院日数	0900103x01	K4761/ K4764/ K4765/ K4766/ ICD-10:C50	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	155

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード注/ICD-10等)	解析適用基準	頁
6 乳房の悪性腫瘍	乳房切除術施行症例における一入院当たり 診療報酬点数(出来高換算)平均値	0900103x01	K4761/ K4764/ K4765/ K4766/ ICD-10:C50	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	156
MDC10:内分泌・栄養・代謝に関する疾患					
1 甲状腺の悪性腫瘍	入院件数	1000203			159
2 甲状腺の悪性腫瘍	施行内訳件数	1000203			160
3 甲状腺の悪性腫瘍	施行割合	1000203		件数上位25%(9件以上)の施設対象	161
4 2型糖尿病(教育入院)	入院件数	1000702			162
5 2型糖尿病(教育入院)	平均在院日数	1000702		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(18件以上)の施設対象	163
6 2型糖尿病(教育入院)	一入院当たり診療報酬点数(出来高換算) 平均値	1000702		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(17件以上)の施設対象	164
7 甲状腺機能亢進症	入院件数	1001403			165
8 甲状腺機能亢進症	施行内訳件数	1001403x01/ 1001403x02/ 1001403x99x0/ 1001403x99x1/ 1001403x99x2		件数上位25%(5件以上)の施設対象	166
9 甲状腺機能亢進症	治療内訳割合	1001403x01/ 1001403x02/ 1001403x99x0/ 1001403x99x1/ 1001403x99x2		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(3件以上)の施設対象	167
10 甲状腺機能亢進症	手術を施行した症例における平均在院日数	1001403x01/ 1101403x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(3件以上)の施設対象	168
11 甲状腺機能亢進症	手術を施行した症例における一入院当たり 診療報酬点数(出来高換算)平均値	1001403x01/ 1101403x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(4件以上)の施設対象	169
12 甲状腺機能亢進症	手術を施行しなかった症例における平均在 院日数	1001403x97/ 1101403x99		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(4件以上)の施設対象	170
13 甲状腺機能亢進症	手術を施行しなかった症例における一入院 当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	1001403x97/ 1101403x99		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(4件以上)の施設対象	171
MDC11:腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患					
1 膀胱腫瘍	入院件数	1100703			175
2 膀胱腫瘍	治療内訳	1100703		20件以上の施設対象	176
3 前立腺の悪性腫瘍	入院件数	1100803	DPC基礎調査票(様式J)における「放射 線療法の有無」、「化学療法の有無」		177
4 前立腺の悪性腫瘍	治療内訳	1100803	DPC基礎調査票(様式J)における「放射 線療法の有無」、「化学療法の有無」	20件以上の施設対象	178
5 上部尿路結石症	入院件数	1101203			179
6 上部尿路結石症	治療内訳	1101203		20件以上の施設対象	180

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード ^注 /ICD-10等)	解析適用基準	頁
7 前立腺肥大症	入院件数	1102003			181
8 前立腺肥大症	施行する手術の術式選択	1102003x01/ 1102003x02/ 1102003x03/ 1102003x04	1102003x04については、 K841_2、K841_3を使用	件数上位25%(12件以上)の施設対象	182
MDC12: 女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩					
1 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍、子宮頸部・ 体部の悪性腫瘍	部位別入院件数	120010/ 120020	ICD-10: C53/ C54/ C56		185
2 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍、子宮頸部・ 体部の悪性腫瘍	部位別入院割合	120010/ 120020	ICD-10: C53/ C54/ C56	20件以上の施設対象	186
3 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍、子宮頸部・ 体部の悪性腫瘍	部位別手術施行件数	1200103x01/ 1200103x02/ 1200203x01/ 1200203x02/ 1200203x03	ICD-10: C53/ C54/ C56		187
4 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	卵巣の悪性腫瘍手術施行症例における平均 在院日数	1200103x01/ 1200103x02	IDC-10: C56	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	188
5 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	卵巣の悪性腫瘍手術施行症例における一入院当 たり診療報酬点数[出来高換算]平均値	1200103x01/ 1200103x02	IDC-10: C56	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	189
6 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	卵巣の悪性腫瘍手術未症例における平均 在院日数	1200103x99	IDC-10: C56	外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	190
7 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮頸部の悪性腫瘍手術施行症例における平均 在院日数	1200203x01/ 1200203x02/ 1200203x03	ICD-10: C53	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	191
8 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮頸部の悪性腫瘍手術施行症例における一入 院当たり診療報酬点数[出来高換算]平均値	1200203x01/ 1200203x02/ 1200203x03	ICD-10: C53	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	192
9 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮頸部の悪性腫瘍手術未症例における平均 在院日数	1200203x99	ICD-10: C53	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(16件以上)の施設対象	193
10 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮体部の悪性腫瘍手術施行症例における平均 在院日数	1200203x01/ 1200203x02/ 1200203x03	ICD-10: C54	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(8件以上)の施設対象	194
11 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮体部の悪性腫瘍手術施行症例における一入 院当たり診療報酬点数[出来高換算]平均値	1200203x01/ 1200203x02/ 1200203x03	ICD-10: C54	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(8件以上)の施設対象	195
12 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮体部の悪性腫瘍手術未症例における平均 在院日数	1200203x99	ICD-10: C54	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(19件以上)の施設対象	196
13 子宮の良性腫瘍	術式別手術施行件数	1200603x01/ 1200603x02/ 1200603x03	K8721/ K8722/ K872-2/ K873/ K876/ K877/ K877-2		197
14 子宮の良性腫瘍	術式別手術施行割合	1200603x01/ 1200603x02/ 1200603x03	K8721/ K8722/ K872-2/ K873/ K876/ K877/ K877-2	20件以上の施設対象	198
15 子宮の良性腫瘍	45歳以下の術式別手術施行件数	1200603x01/ 1200603x02/ 1200603x03	K8721/ K8722/ K872-2/ K873/ K876/ K877/ K877-2/ 年齢: 45歳以下		199
16 子宮の良性腫瘍	45歳以下の術式別手術施行割合	1200603x01/ 1200603x02/ 1200603x03	K8721/ K8722/ K872-2/ K873/ K876/ K877/ K877-2/ 年齢: 45歳以下	件数上位25%(19件以上)の施設対象	200
17 子宮の良性腫瘍	手術症例における平均在院日数	1200603x01	K8721/ K8722/ K876/ K877	外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	201
18 子宮の良性腫瘍	子宮全摘術症例における平均在院日数	1200603x01	K876/ K877	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(15件以上)の施設対象	202
19 子宮の良性腫瘍	子宮筋腫核出術症例における平均在院日 数	1200603x01	K8721/ K8722	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	203

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード注/ICD-10等)	解析適用基準	頁
20 子宮の良性腫瘍	子宮の良性腫瘍症例における一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	120603		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	204
MDC13:血液・造血器・免疫臓器の疾患					
1 急性白血病(ホジキン病/非ホジキン病)/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	血液・造血系悪性疾患の入院件数	1300103/ 1300203/ 1300303/ 1300403/ 1300503/ 1300603/ 1300803			207
2 急性白血病(ホジキン病/非ホジキン病)/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	血液・造血系悪性疾患における一入院当たり診療報酬点数	1300103/ 1300203/ 1300303/ 1300403/ 1300503/ 1300603/ 1300803		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	208
3 急性白血病(ホジキン病/非ホジキン病)/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	血液・造血系悪性疾患における一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	1300103/ 1300203/ 1300303/ 1300403/ 1300503/ 1300603/ 1300803		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	209
4 急性白血病	入院件数	1300103			210
5 急性白血病	平均在院日数	1300103		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	211
6 急性白血病	一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	1300103		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	212
7 播種性血管内凝固症候群	年齢別の発生数	1301003	年齢:1歳未満、 1歳~14歳、15歳以上		213
MDC14:新生児疾患、先天性奇形					
1 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	入院件数	1400103	出生時体重:1000g未満、1000g~ 1500g、1500g~2500g、2500g以上		217
2 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	平均在院日数	1400103		外れ値両側5%を除外 20件以上の施設を解析対象	218
3 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	1400103		外れ値両側5%を除外 20件以上の施設対象	219
MDC15:小児疾患					
1 ウイルス性腸炎	入院件数(検査入院含む)	1500101/ 1500103			223
2 ウイルス性腸炎	平均在院日数(検査入院含む)	1500101/ 1500103		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	224
3 ウイルス性腸炎	ウイルス性腸炎(検査入院を含む)における一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	1500101/ 1500103		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	225
4 ウイルス性髄膜炎/急性脳炎・急性脳症	入院件数	150030/ 150050			226
MDC16:外傷・熱傷・中毒・異物、その他の疾患					
1 股関節大腿近位骨折	術式別手術施行件数(全部位)	1608003x01/ 1608003x02	1608003x02はK0461を 用		229
2 股関節大腿近位骨折	術式別手術施行割合(全部位)	1608003x01/ 1608003x02	1608003x02はK0461を 用	件数上位25%(17件以上)の施設対象	230
3 股関節大腿近位骨折	年齢・部位別入院件数(全部位)	1608003	ICD-10:S720/ S721/ S722/ S727/ S728/ S730および年齢を使用。		231

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード注/ICD-10等)	解析適用基準	頁
4 股関節大腿近位骨折	年齢・部位別入院割合(全部位)	1608003	ICD-10: S720/ S721/ S722/ S727/ S728/ S730および年齢を使用。	20件以上の施設対象	232
5 股関節大腿近位骨折	年齢・術式別手術施行件数(頸部のみ)	1608003x01/ 1608003x02	K0461/ ICD-10: S720および年齢を使用。		233
6 股関節大腿近位骨折	年齢・術式別手術施行割合(頸部のみ)	1608003x01/ 1608003x02	K0461/ ICD-10: S720および年齢を使用。	件数上位25%(13件以上)の施設対象	234
7 股関節大腿近位骨折	年齢・術式別手術施行件数(その他部位)	1608003x01/ 1608003x02	K0461/ ICD-10: S721/ S722/ S727/ S728/ S730および年齢を使用。		235
8 股関節大腿近位骨折	年齢・術式別手術施行割合(その他部位)	1608003x01/ 1608003x02	K0461/ ICD-10: S721/ S722/ S727/ S728/ S730および年齢を使用。	件数上位25%(6件以上)の施設対象	236
9 股関節大腿近位骨折	人工骨頭挿入術施行症例における平均入院日数	1608003x01		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	237
10 股関節大腿近位骨折	骨折親血的手術施行症例における平均入院日数	1608003x02	K0461	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(14件以上)の施設対象	238
11 股関節大腿近位骨折	手術施行症例(全部位)における一入院当たり診療報酬点数(出来高換算)平均値	1608003x01/ 1608003x02	K0461	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(20件以上)の施設対象	239
12 敗血症その他の感染症	年齢別発生件数	1601603	年齢: 1歳未満、1歳~14歳、15歳以上		240
13 骨盤骨折	入院件数	1609803			241
14 多発外傷	入院件数	1609903			242
15 熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃症	入院件数	1610003			243

MDC横断解析

1 入院後に発症した敗血症	入院後に発症した敗血症の件数(乳児/1~14歳/15歳以上)	ICD-10: A021/ A207/ A221/ A241/ A267/ A282/ A327/ A394/ A403/ A413/ A427/ A548/ B007/ B349/ B377/ D71/ I301/ I330/ I400/ I776/ J020/ J189/ J209/ J950/ L025/ L080/ M8699/ O080/ O753/ O85/ O883/ P389/ T814/ T880	入院後合併症に「敗血症」に相当するICD10コードが含まれ、かつ「入院時併存症」と「入院の契機となった傷病名」のいずれも「敗血症」に相当しない症例を選択した。	247
2 入院後に発症した敗血症	入院後に発症した敗血症の発生率(乳児)			248
3 入院後に発症した敗血症	入院後に発症した敗血症の発生率(1~14歳)			249
4 入院後に発症した敗血症	入院後に発症した敗血症の発生率(15歳以上)			250
5 入院後に発症した播種性凝固性血管内症候群(DIC)	入院後に発症したDICの件数(乳児/1~14歳/15歳以上)			251
6 入院後に発症した播種性凝固性血管内症候群(DIC)	入院後に発症したDICの発生率(15歳以上)	ICD-10: P603/ O723/ O081 / D65	入院後合併症に「DIC」に相当するICD10コードが含まれ、かつ「入院時併存症」と「入院の契機となった傷病名」のいずれも「DIC」に相当しない症例を選択した。	252
7 入院後に発症した播種性凝固性血管内症候群(DIC)	入院後に発症したDICの死亡率(15歳以上)			253
8 麻酔	麻酔件数とその内訳(全身麻酔/脊髄・硬膜外麻酔/局所麻酔/その他の麻酔)			254
9 麻酔	全ての麻酔施行症例に全身麻酔(局所麻酔併用を含む)が占める割合			255

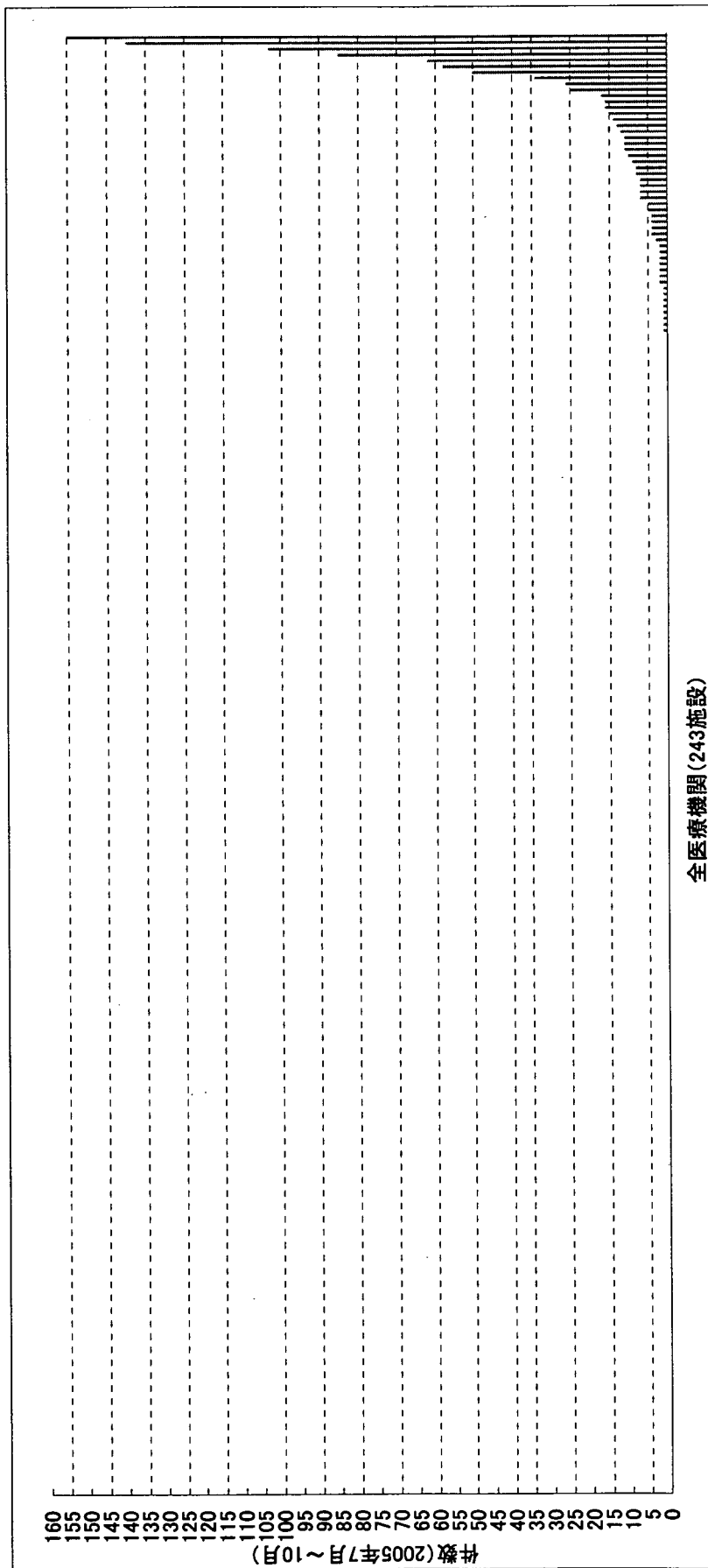
分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード ^注 /ICD-10等)	解析適用基準	頁
10 麻酔	全身麻酔に硬膜外麻酔併用が占める割合				256
11 肺塞栓	全MDCIにおける肺塞栓症発生件数		ICD-10: I260/ I269	主傷病名、医療資源を最も投入した傷病名 1～2、入院後発症疾患名1～4のみを対象	257
12 肺塞栓	全MDCIにおける肺塞栓症発生率(10万患者・日当り)		ICD-10: I260/ I269	主傷病名、医療資源を最も投入した傷病名 1～2、入院後発症疾患名1～4のみを対象	258

MDC01

神經系疾患

脳腫瘍における定位放射線治療施行件数(推計)

解析対象DPC番号の範囲		ハーセクスタイル											
分類名	解析内容	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
脳腫瘍	定位放射線治療推計件数	988	4.1	17.3	0	155	0	0	0	0	0	7	16



【図の説明】

■ : 定位放射線治療[薬剤材料以外の放射線点数 \geq 63,000]

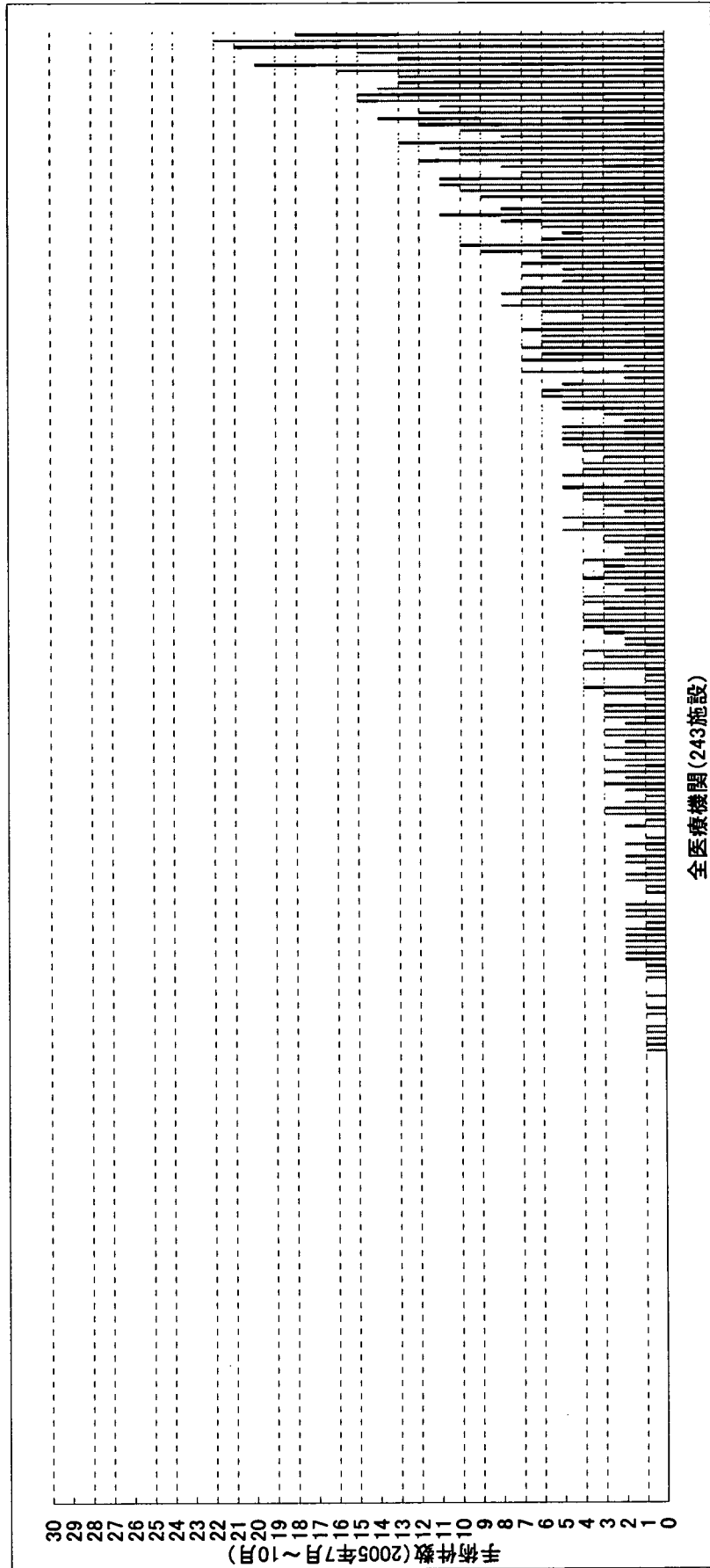
【コメント】

「手術点数表コードJ」にはガンマナイフ[M001-2]やリニアック[M001-3]のコーディングの大半が入力されていなかったため、レセプト情報の「薬剤材料以外の放射線療法点数」が63,000点以上の症例を両者の治療を受けた症例とみなした。なお、両治療の診療報酬はどちらも同点数(63,000点)であるため、両者の区別は不可能であった。243施設中50施設(21%)において1件以上施行されていた。4ヶ月間における施行件数の中央値は0件ではあるものの、最大で155件の施行がなされた施設があり、施設間で大きな差がみられた。

くも膜下出血・破裂脳動脈瘤のクリッピング・脳血管内手術の施行件数

解析対象DPC番号の範囲 0100203001/ 0100203002/ 0100203101/ 0100203102

分類名	解析内容	パーセンタイル											
		手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	脳動脈瘤流入血管クリッピング等の件数-JCS30以上	238	1.3	1.7	0	11	0	0	0	1	2	4	5
	脳血管内手術件数-JCS30以上	86	0.7	1.3	0	7	0	0	0	0	1	3	3
	脳動脈瘤流入血管クリッピング等の件数-JCS30未満	624	2.7	3.3	0	22	0	0	0	2	4	7	10
	脳血管内手術件数-JCS30未満	135	1.0	1.6	0	10	0	0	0	0	1	3	4



【図の説明】

■:脳血管内手術:JCS30未満[DPC手術コード:01]

■:脳動脈瘤流入血管クリッピング等:JCS30未満[DPC手術コード:02]

■:脳血管内手術:JCS30以上[DPC手術コード:01]

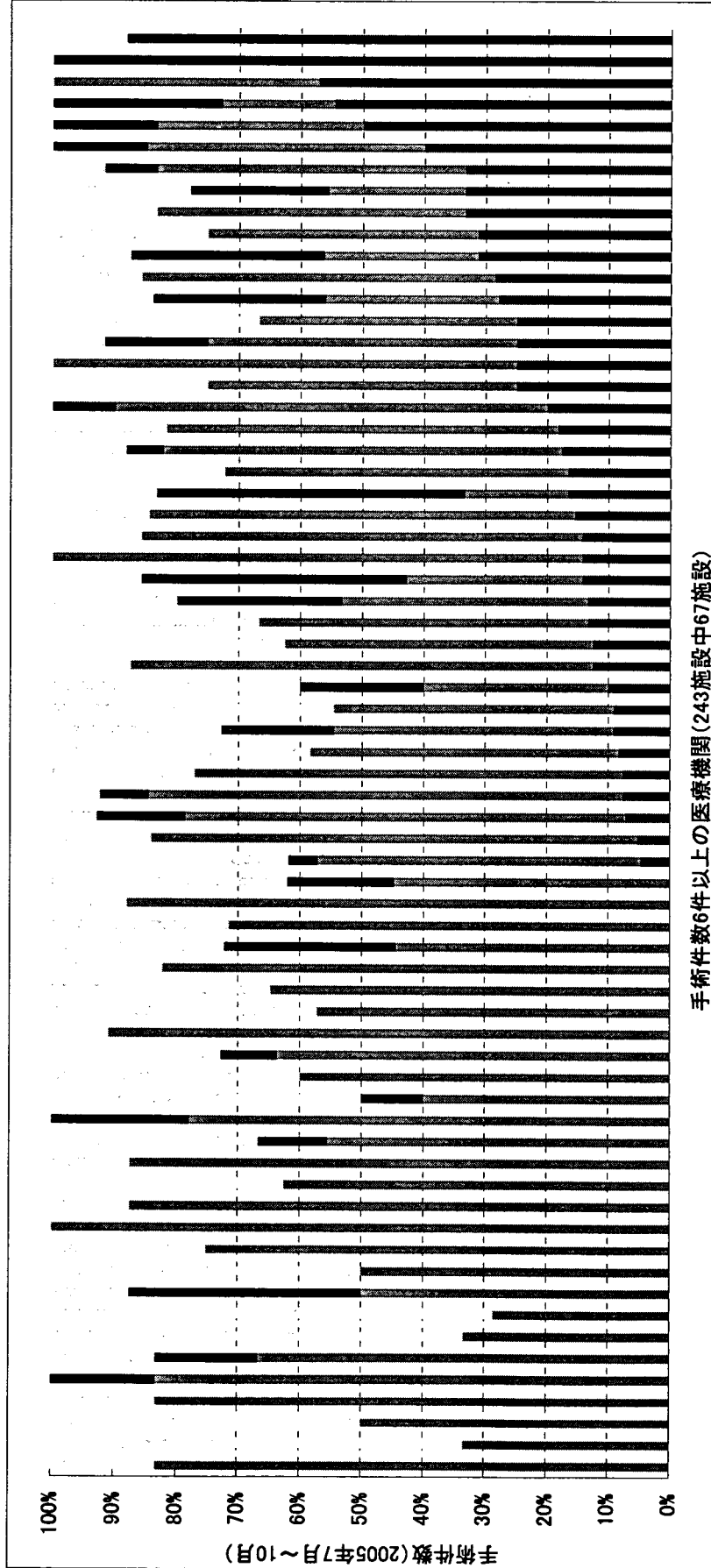
■:脳動脈瘤流入血管クリッピング等:JCS30以上[DPC手術コード:02]

【コメント】

243施設中169施設(70%)において、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤症例に対するクリッピング手術または脳血管内手術が施行されていた。全手術症例のうち80%はクリッピング手術で、脳血管内手術症例は20%に留まっていた。脳血管内手術の実施件数は少なく(実施件数の中央値=0件)、施行症例が4か月間で5件以上あった施設は全体のわずか5%であった。

くも膜下出血・破裂脳動脈瘤のクリッピング・脳血管内手術の施行割合(N = 771)

解析対象DPC番号の範囲		ハーセクタイトル										
0100203001/ 0100203002/ 0100203101/ 0100203102												
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
		くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	脳動脈瘤流入血管クリッピング等の件数:JCS30以上	22%	17%	0%	71%	0%	0%	12%	17%	33%
	脳血管内手術件数:JCS30以上	9%	13%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	17%	28%	36%
	脳動脈瘤流入血管クリッピング等の件数:JCS30未満	55%	22%	0%	100%	19%	28%	43%	53%	71%	83%	88%
	脳血管内手術件数:JCS30未満	14%	16%	0%	59%	0%	0%	0%	8%	23%	33%	53%



【図の説明】

: 脳血管内手術:JCS30未満[DPC手術コード:01]
 : 脳動脈瘤流入血管クリッピング等:JCS30未満[DPC手術コード:02]

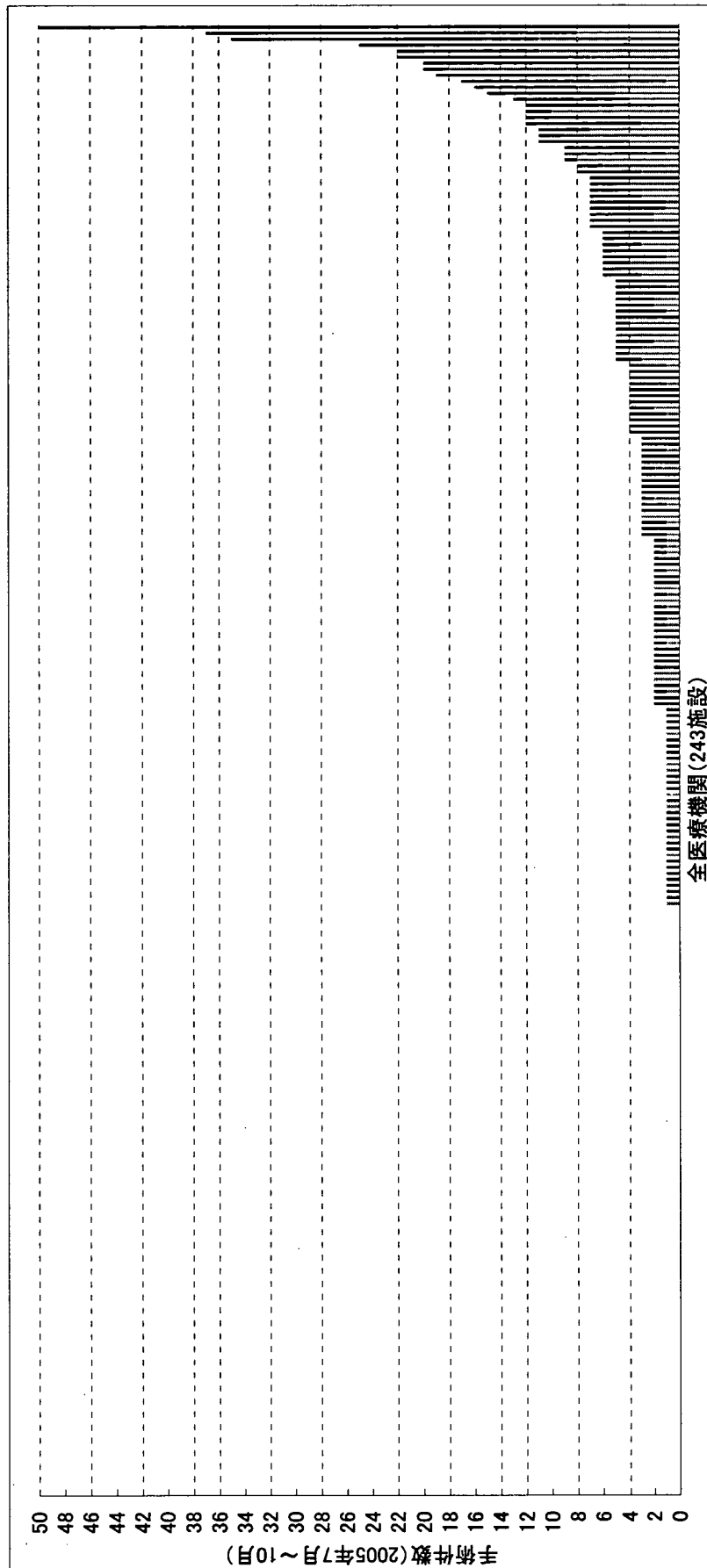
: 脳血管内手術:JCS30以上[DPC手術コード:01]
 : 脳動脈瘤流入血管クリッピング等:JCS30以上[DPC手術コード:02]

【コメント】

手術件数が6件以上(件数上位25%に相当)の67施設を解析対象とした。全体的には、JCS30未満の脳血管内手術施行割合は14%、脳動脈瘤流入血管クリッピング等の施行割合は55%であり、その割合は施設間で大きなバラツキが認められた。

非破裂脳動脈瘤のクリッピング・脳血管内手術の施行件数

分類名	解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル												
	0100303x01/	0100303x02	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
非破裂脳動脈瘤	脳動脈瘤流入血管クリッピング等の件数		576	2.5	5.2	0	50	0	0	0	1	3	6	10	
	脳血管内手術件数		228	1.3	2.6	0	18	0	0	0	0	1	4	7	



【図の説明】

■ : 脳血管内手術 [DPC手術コード:01]

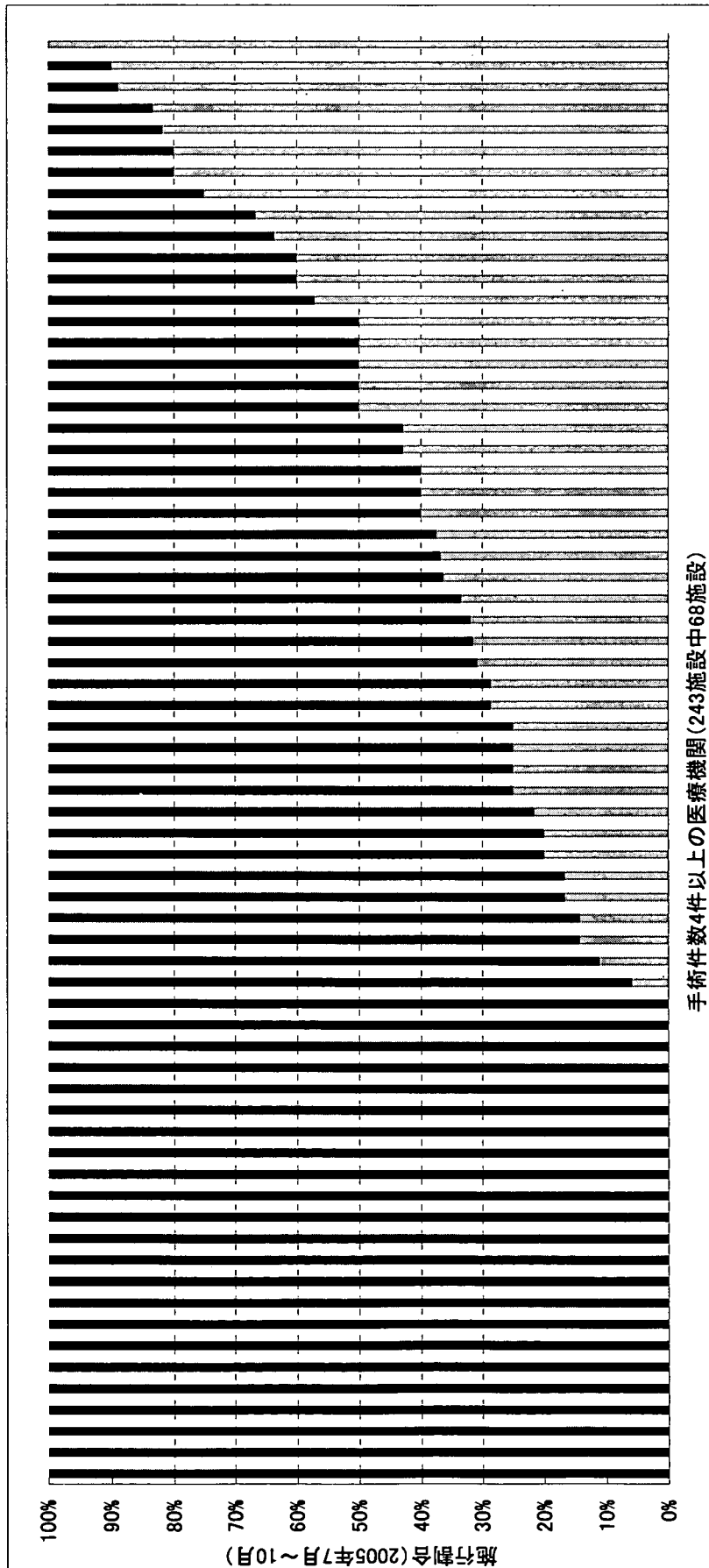
■ : 脳動脈瘤流入血管クリッピング等 [DPC手術コード:02]

【コメント】

243施設中146施設(60%)において、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤症例に対するクリッピング手術または脳血管内手術が施行されていた。全手術症例のうち72%はクリッピング手術で、脳血管内手術症例は28%に留まっていた。脳血管内手術の実施件数は少なく(実施件数の中央値=0件)、施行症例が4か月間で5件以上あった施設は全体のわずか6%であった。

非破裂脳動脈瘤のクリッピング・脳血管内手術の施行割合(N = 664)

分類名	解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
	0100303x01/0100303x02	0100303x01/0100303x02	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
非破裂脳動脈瘤	脳動脈瘤流入血管クリッピング等の施行割合	71%	29%	0%	100%	17%	24%	50%	75%	100%	100%	100%	
	脳血管内手術施行割合	29%	29%	0%	100%	0%	0%	0%	25%	50%	77%	83%	



【図の説明】

件数上位25%(4件以上)の施設を解析対象とした。

■: 脳血管内手術[DPC手術コード:01]

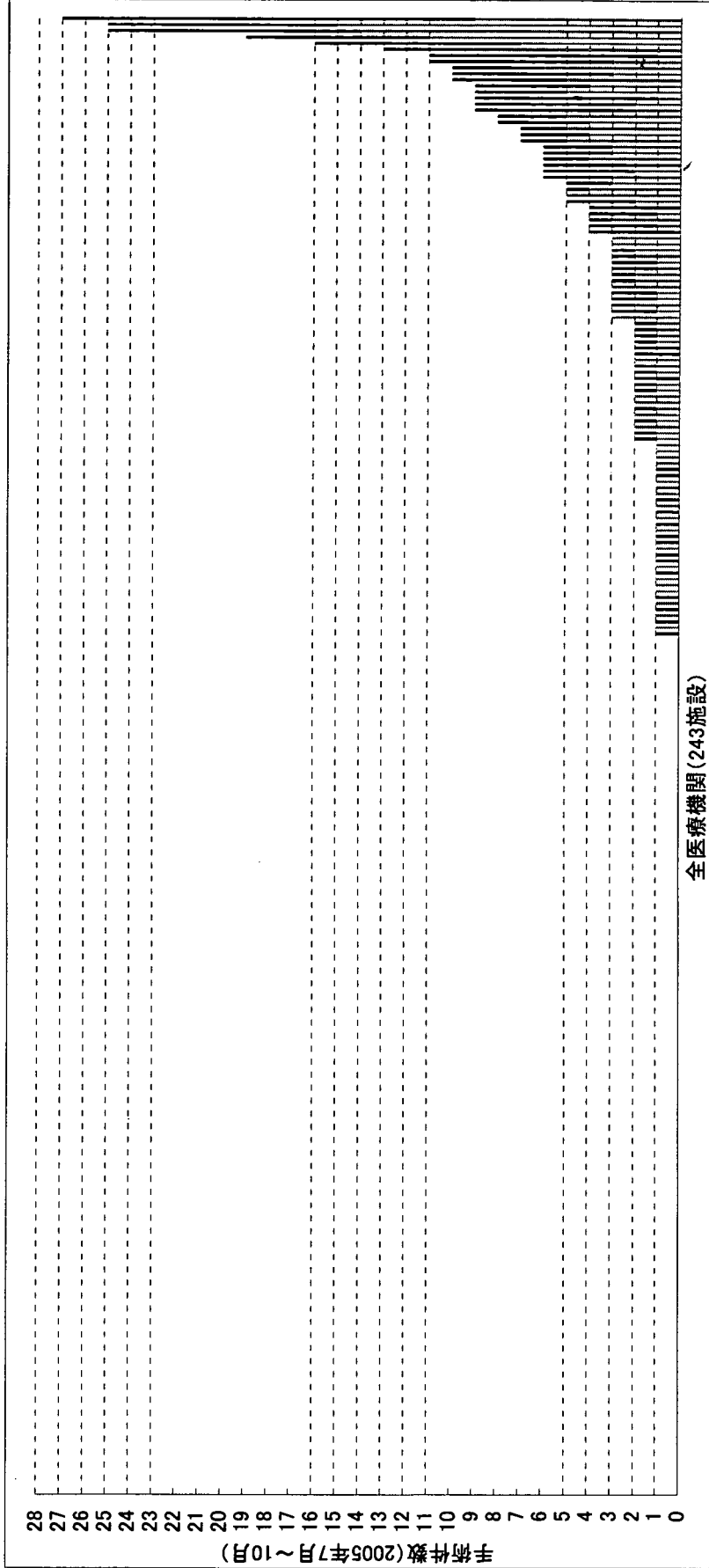
■: 脳動脈瘤流入血管クリッピング等[DPC手術コード:02]

【コメント】

手術件数が4件以上(件数上位25%に相当)の68施設を解析対象とした。全体的には、脳血管内手術施行割合は29%であったが、その割合は施設間で大きなバラツキが認められ、脳血管内手術施行割合は0%(23施設)から100%(1施設)まで分布していた。

破裂・非破裂脳動脈瘤の脳血管内手術施行件数

解析対象DPCコードの範囲		パーセンタイル											
0100203001および0100203101および0100303x01		手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
分類名	解析内容	228	1.1	2.4	0	18	0	0	0	0	1	3	6
くも膜下出血/破裂脳動脈瘤および非破裂脳動脈瘤	非破裂脳動脈瘤における脳血管内手術件数												
	破裂脳動脈瘤における脳血管内手術件数	221	0.9	2.1	0	15	0	0	0	0	1	3	5



【図の説明】

■ : 破裂脳動脈瘤 [DPCコード: 0100203]

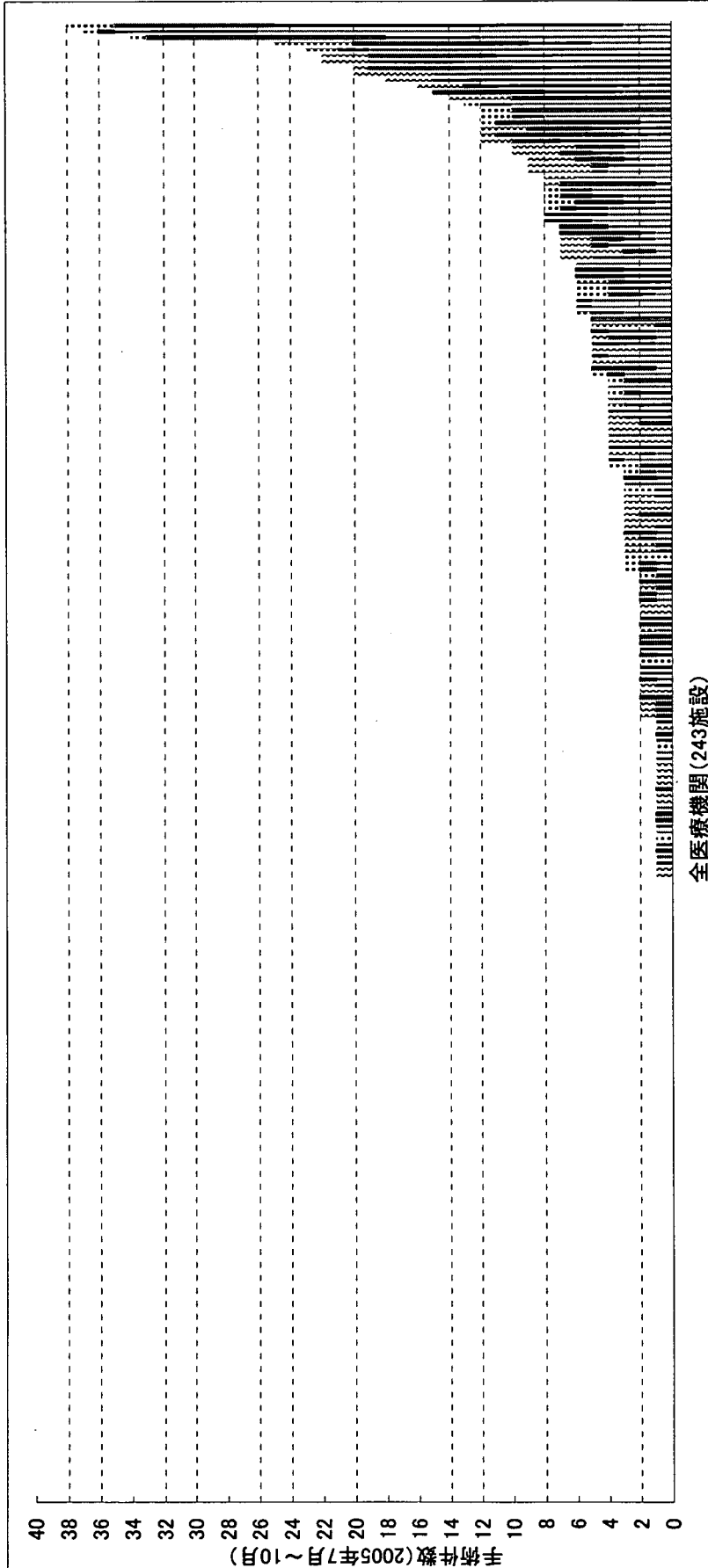
▨ : 非破裂脳動脈瘤 [DPCコード: 0100303]

【コメント】

脳血管内手術の施行症例数は少ないことから、破裂脳動脈瘤症例と非破裂脳動脈瘤症例とを併せて脳血管手術施行件数を検討した。その結果、約半数の施設(243施設中102施設、42%)で脳血管内手術が施行されていた(施行件数の中央値=0件)。

脳梗塞の手術施行件数

分類名	解析内容	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル									
							5	10	25	50	75	90	95			
脳梗塞	脳血管内手術等件数	170	0.7	1.1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	動脈血栓内膜摘出術件数	205	0.8	2.1	0	15	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5
	動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈件数	215	0.9	2.3	0	22	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
	経皮的脳血管形成術件数	241	1.0	2.9	0	26	0	0	0	0	0	0	0	1	3	5



【図の説明】

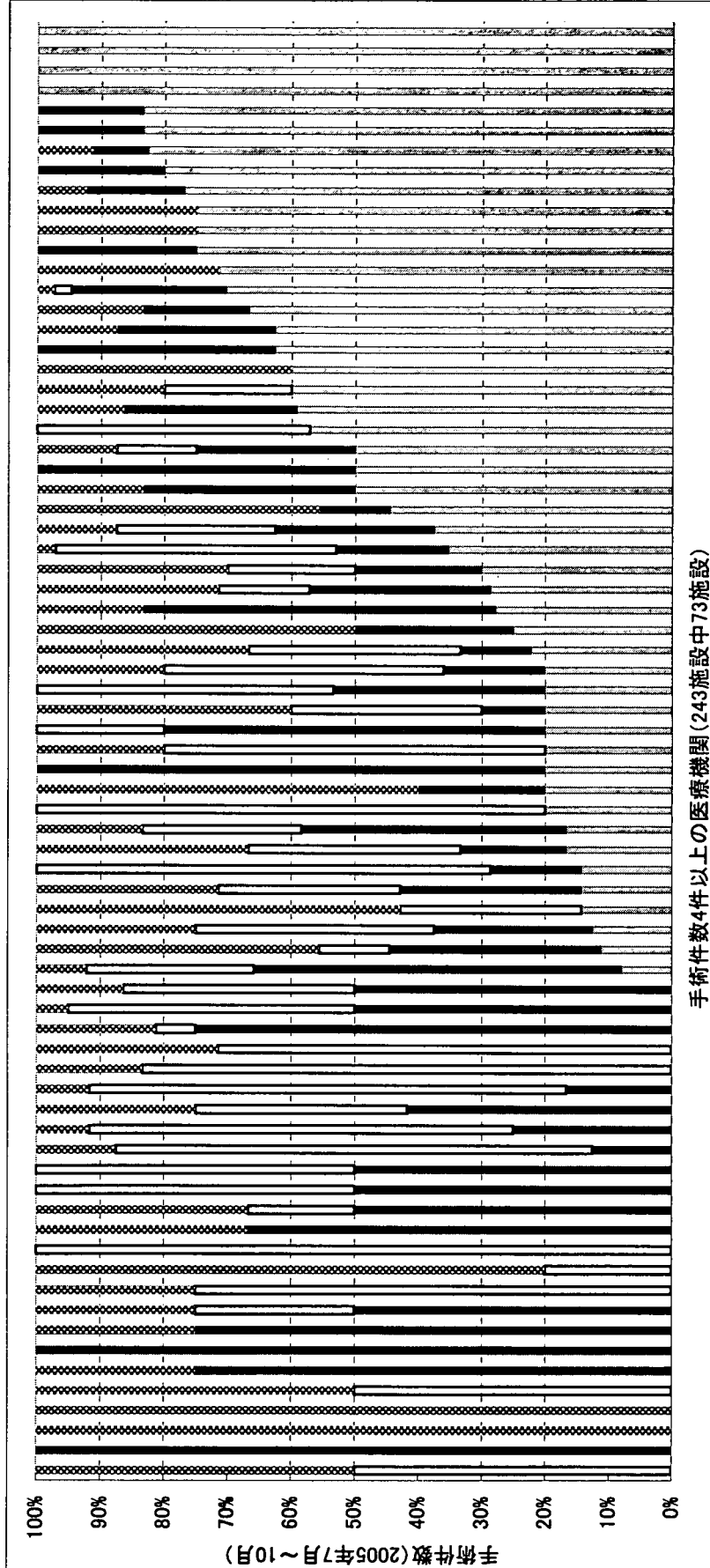
- : 経皮的脳血管形成術 [DPC手術コード:01]
- ▨ : 動脈血栓内膜摘出術 [DPC手術コード:03]
- ▧ : 動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈 [DPC手術コード:02]
- ▩ : 脳血管内手術等 [DPC手術コード:04]

【コメント】

脳梗塞症例に対する手術施行症例数を調べたところ、経皮的脳血管形成術と動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈の手術施行件数はほぼ同数であった。施行症例数の多い3施設では、その手術件数にバラツキがみられた。

脳梗塞の手術施行割合 (N = 706)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
0100603		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
脳梗塞	解析内容											
	脳血管内手術等の施行割合	20%	22%	0%	100%	0%	0%	0%	17%	29%	49%	58%
	動脈血栓内膜摘出術の施行割合	23%	27%	0%	100%	0%	0%	0%	14%	43%	70%	75%
	動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈の施行割合	25%	26%	0%	100%	0%	0%	0%	20%	42%	60%	75%
経皮的脳血管形成術の施行割合	31%	33%	0%	100%	0%	0%	0%	20%	60%	79%	90%	



【図の説明】

: 経皮的脳血管形成術[DPC手術コード:01]
 : 動脈血栓内膜摘出術[DPC手術コード:03]

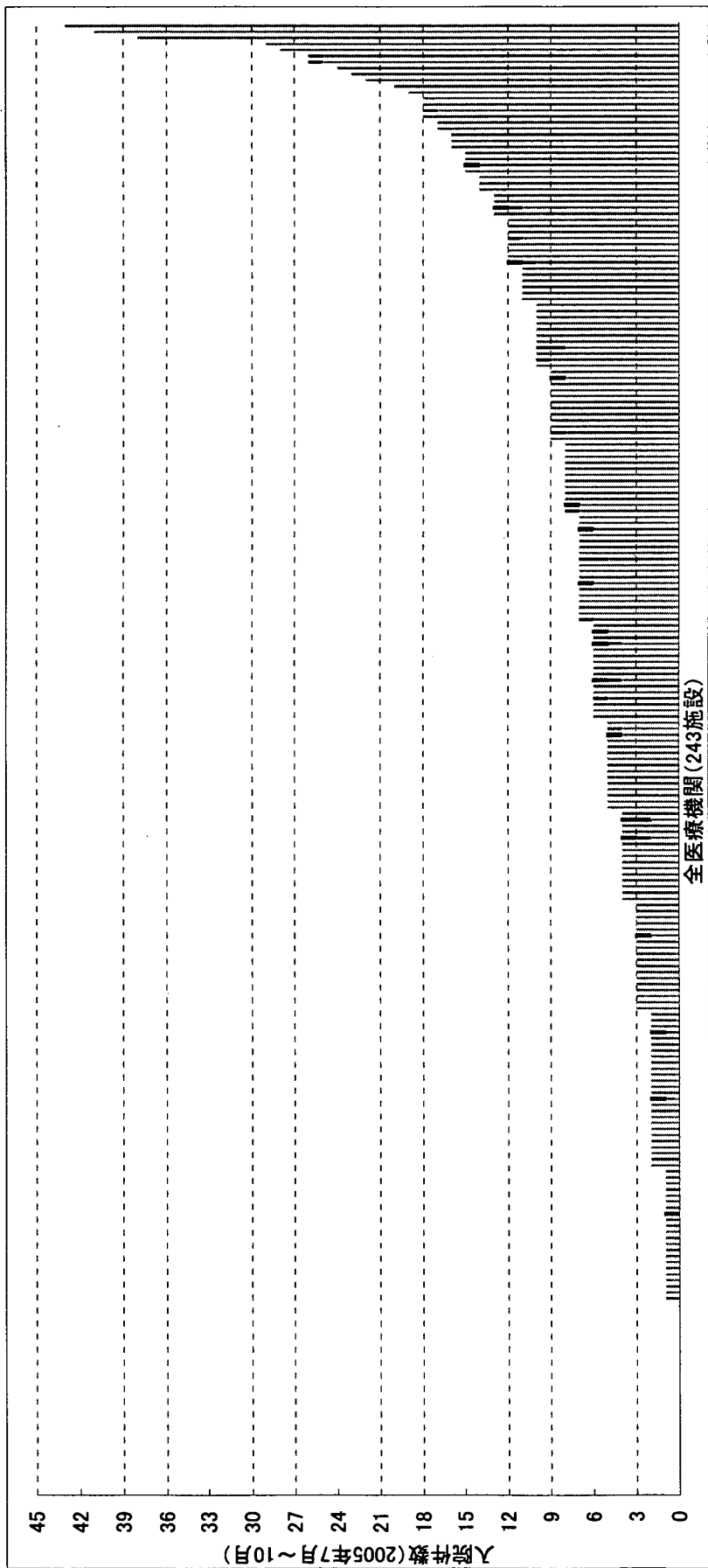
: 動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈[DPC手術コード:02]
 : 脳血管内手術等[DPC手術コード:04]

【コメント】

手術件数が4件以上(件数上位25%に相当)の73施設を解析対象とした。経皮的脳血管形成術と動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈の手術施行割合は、ともに0%から100%と大きなバラツキがあるが、平均的には経皮的脳血管形成術の施行割合の方が6%高かった。

MDC01に分類された脳炎入院件数

分類名	解析対象DPC番号の範囲										パーセンタイル									
	010080/ 010083/ 010320																			
解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95								
中枢神経系感染症	18	1	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1								
結核性髄炎、髄膜炎	19	1	0	1	2	1	1	1	1	1	1	2								
脳脊髄の感染を伴う炎症	1,571	7.5	6.9	1	43	1	1	3	6	10	15	20								



【図の説明】

: 脳脊髄の感染を伴う炎症[DPCコード:010080ただしHAM(A858)を除く]
 : 結核性髄膜炎、髄膜炎[DPCコード:010083]
 : 中枢神経系感染症[DPCコード:010320]

【コメント】

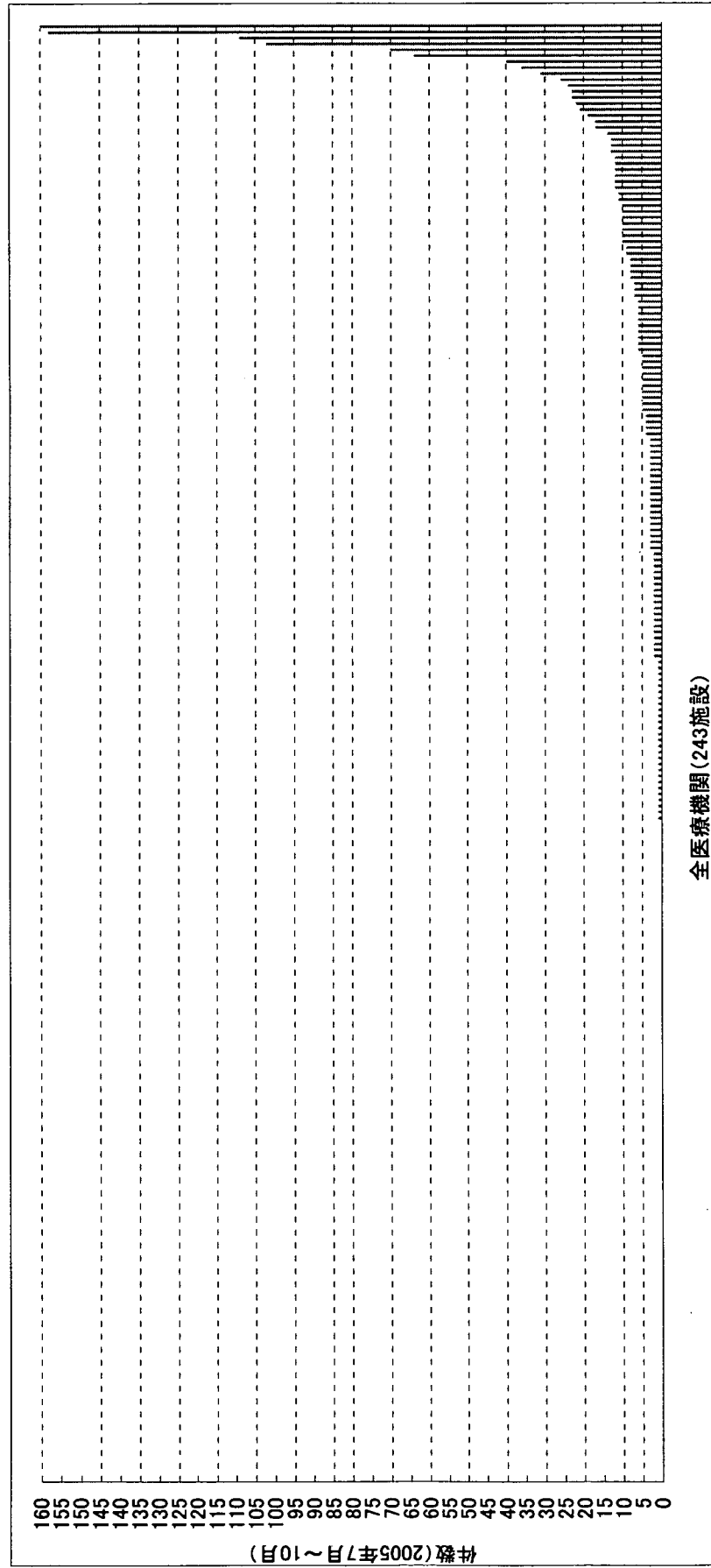
ここでは、脳炎症例を「脳脊髄の感染を伴う炎症」(DPC:010080)・「結核性髄膜炎」(DPC:010083)・「中枢神経系感染症」(DPC:010320)のいずれかの症例とした。243施設中211施設(87%)で約1600件の症例があった。全症例のうち、脳脊髄の感染を伴う炎症が全体の98%を占め、その他の脳炎はごくわずかであった。最大の症例数を有する施設でも脳炎症例数は1件もなかった。

MDC02

眼科系疾患

MDC1 全症例の放射線療法施行件数

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
分類名	解析内容	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
全神経系疾患	放射線療法件数	1,490	6.1	18.7	0	160	0	0	0	1	5	12	23



全医療機関(243施設)

【図の説明】

■ : 放射線療法 [DPC基礎調査表 (様式1) : 放射線療法の有無]

【コメント】

放射線療法はMDC1全体のおよそ半分(243施設中133施設(55%))の医療機関で実施されており、4か月間における施行件数の中央値は1件であったが、その施行件数に施設間で大きなバラツキが生じているのが特徴的であった(最小値0件、最大値160件)。放射線療法施行症例の「医療資源を最も投入した傷病名」は、転移性脳・脳髄膜腫瘍が過半数の63%を占め、次いで原発性脳腫瘍が15%を占めていた。